

ナシ 梨

バラ科

参考文献

一般社団法人果種協・国立研究開発法人農研機構・国立研究開発法人JIRCAS(監修)(2017),
図説果物の大図鑑,株式会社マイナビ出版 他

○多摩青果の主な入荷情報

	色の基準 少 多											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
産地												
福島												
茨城												
栃木												
埼玉												
千葉												
新潟												
長野												
鳥取												
福岡												

○月別情報

7月：福岡・茨城産のハウス幸水が入荷スタート
早い年は6月下旬からスタートすることもある
初めは5kg箱、海の日頃を境に10kg箱に切り替わる

8～9月：露地の幸水・豊水の入荷スタート
各産地の品種もリレー式で入荷
8月は関東近郊、9月は福島がスタートする
県南から県北へ順を追って産地が変わっていくため
たとえ同じ品種であっても九州産と東北産では入荷
のピークは1ヶ月ほど異なる

10月：新高、新興など晩生種の入荷量が増える
また貯蔵ものもスタート、以降12月頃まで入荷

○梨の選び方と保存方法

選び方	横長で重心が低く、ずっしりしているもの 軸がしっかりしていて色ムラなく傷がないもの	
保存	生	ポリ袋に入れて冷蔵庫野菜室で保存
	冷凍	くし切りにし、フリーザーバッグに入れ保存
食べ頃	薄茶色の果皮のものはザラつきが減った頃 黄緑色の果皮のものは黄色みが強くなった頃	
追熟方法	硬いものは新聞紙に包み常温で置いておく	

○赤梨と青梨の違い

・赤梨



後半の品種ほどかたい、大玉、日持ちする特徴がある
果皮は褐色、表面はザラザラしており、高糖度

・青梨



果肉は黄緑、表面はなめらかで、甘味はさっぱり

○梨は貯蔵可能

収穫時期は7～11月。
様々な品種を貯蔵することで、本来よりも長期間楽しめる。
南水は最も貯蔵性が高く、常温1ヶ月、冷蔵3ヶ月、氷蔵6ヶ月
を可能にしている。

発行：東京多摩青果株式会社 営業開発部開発課

※2019年現在の多摩青果における各産地の情報とおおよその入荷時期です。気象条件等で実際の入荷状況は異なる場合があります。

ナシ 梨

バラ科

こうすい
幸水

7～9月 早生種

和梨で最も生産量が多い
一番最初に出回る
多汁で、やわらかく甘い



ほうすい
豊水

8月下旬～9月 中生種

やや腰高の球形、赤褐色
甘味強く優しい酸味
やわらかく多汁



なんすい
南水

9月中旬～11月 中生種

甘味があり、酸味少ない
果肉がやわらかく多汁
貯蔵に優れている品種



にいたか
新高

9月下旬～11月 晩生種

やわらかく果汁が多い
酸味控えめで食味良好
香りが良く日持ちする



しんかんせん
新甘泉

8～9月上旬 早生種

鳥取のオリジナル品種
大玉で高糖度
酸味が少なく、果汁が豊富
シャリシャリ食感



しんこう
新興

10月中旬～12月 晩生種

鳥取県のオリジナル品種
赤褐色で光沢がある
尻すぼみな形が特徴
多汁で甘味がある



あきづき

9月中旬～11月 やや晩生種

大きな扁円形で、やわらかく多汁
酸味が少なく甘味が際立つ
近年生産量が増えている
注目度の高い品種



にっこり

10月中旬～11月中旬 晩生種

栃木県のオリジナル品種
貯蔵性が高く、極大玉
「日光」「梨」を音読みした名前
多汁で甘くやわらかい食感



おうしゅう
王秋

10月下旬～12月 晩生種

極大玉種でやや縦長
中国種と交配し出来た品種
特有の香りがあり甘味が強い
密な肉質やわらかな歯ざわり



にじっせい
二十世紀

8～10月上旬 中生種

青梨の代表
シャリ感が強く果肉が薄い
みずみずしく爽やかな酸味
日持ちのする品種

